

歯周病を悪化させる血圧を下げるお薬

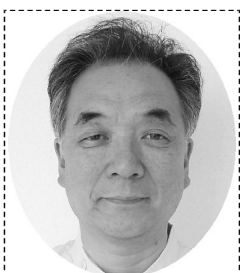
歯科シリーズ

その3

今回は日本人の4000万人が罹患しているといわれ、高血圧症の治療薬として使用される降圧剤と歯周病について説明をします。

■さまざまな種類からなる血圧の薬

血圧が上がる仕組みは大変複雑です。したがって、高血圧を改善することを目的とする薬には、利尿をするなどで改善をさせる薬や



代々木歯科
歯科医師
南條芳久

血管の緊張をゆるめるもの、自律神経の活動の抑制などで抑える薬など、その種類はたくさんあります。

■カルシウム拮抗剤と歯周病

カルシウム拮抗剤の

種類にはアダラートというニフェジピン系のもので、ノルバスクなどのアムロジピンなどがあります。

歯周病を悪化させる可能性のある降圧剤

製品名	一般名
アダラートCR	ニフェジピン
アムロジン	アムロジピン
カルスロット	マニジピン
カルブロック	アゼルニジピン
コニール	ベニジピン

基本は歯垢の除去と、歯肉の抵抗力を引き出す「柔らかいブラシに

よる歯肉マッサージ」です。あるいは外科による病的部分の除去です。

二つ目に、降圧剤を飲んで歯周病の患者に副作用がでるわけではありません。

したがって、私たち歯科では、歯周病治療に際し、通常の治療で効果が上がらないものについては、内科の主治医と相談して、降圧剤をカルシウム拮抗剤系のものから、他の種類の降圧剤へ変更をお願いするなどして、対応しています。



くすりの話あれこれ 59

高齢者に目立つ薬の包装シートの誤飲事故に注意して！
—飲み込んだPTP包装が喉や食道などを傷つけるおそれも—

西村清志（薬剤師・たくみ外苑薬局）

り裂いてしまうなど、重症状につながることもあります。誤飲したと思っただけで、すぐに専門医を受診して下さい。自覚がない場合でも、薬の服用後に喉や胸などに違和感があるなどで誤飲が疑われる場合は、受診したほうがよいです。

おくすりには、包装シートから取り出してお飲みください。

水俣病の被害者救済へ

共通診断書を

7名のチームで作成

水俣病が1956年に確認されてから半世紀が経過しましたが、いまだ被害者の十分な救済がおこなわれていません。認定基準は厳しく、被害者を精神的・経済的に苦しめています。ノーモア・ミナマタ訴訟弁護団では、被害者の迅速な救済と水俣病の実態の解明などのため、共通診断書を作成することにしました。

チームで共通診断書の作成を実施

代々木病院では、今川篤子医師を中心とした総勢7名の「チーム・ミナマタ」を編成し、11月中旬に5名分の診断書を作成していき

院の際「(人生で)初めて入院するんだよ」と笑っていました。猫に魚を与えたら30分で死んだ



口の周りの感覚チェック

身体をむしばみ続けている病氣

原告と被告(国、加害企業)のチッソなどの双方が和解解決にむけて「基本合意」し、患者救済に光がさすことになりました。

共通診断書によって保障などの手続きが、公正に一日でも早く進むことが望まれます。

東京勤労者医療会の医療・介護の充実のために

地域協同基金・寄付金・特定協力借入金にご協力下さい

(無利息)

(年利1.5%・5年間)

募集のご案内

申込用紙は当法人の病院・診療所・各事業所においてあります。詳しくは「募集のご案内」をご覧ください。

問合せ先

医療法人財団 東京勤労者医療会
法人 経理

〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷5-12-12 歯科センター3F
☎03-5366-6893 Fax03-5366-6423

去る9月に、独立行政法人国民生活センターより、薬をPTP包装シートごと飲みこんでしまい、喉や食道などを傷つけたという事故が86件報告されました。

薬の包装は、PTP包装シート(プラスチック)にアルミなどを貼り付け合わせて錠剤やカプセルを包んだ包装が主流で、1錠単位に切り離れた薬をPTP包装のまま飲み込んでしまうと、自力で取り出すことは難しく、X線写真にも写りにくいため、内視鏡で取り出すことになる

り、身体への負担も大きいです。

(1) PTP包装の薬はPTPシートから取り出して服用して下さい。

(2) PTP包装には誤飲防止のため、横か縦の一方方向のみシン目が入っているの

(3) 高齢者での事故が目立つので、家族など周りにいる人も気を配って下さい。

(4) PTP包装の薬や、1回分の薬の量が多い場合は、PTP包装のままの錠剤に気が付かないこともありま

(5) 1回分ずつの薬を袋にまとめて入れる「一包化」を活用して下さい。

1回に複数の薬を服用する場合は、1回分の薬を袋に入れる「一包化」にしてもらうことも飲み忘れや誤飲を防ぐことに役立ちま

す。薬剤によっては一包化が行えない場合がありますが、一包化をご希望の場合は、是非、処方される医師、かかりつけの薬局の薬剤師等にご相談下さい。

12月10日(金)必着

新年号の記事急募!

新年号では読者コーナーを大きくします。みなさんのお便りをお待ちしています。

受付中

俳句、短歌、川柳、絵手紙、写真(コメント入)、エッセイその他なんでも

★住所、氏名をお忘れなく★